

「100より大きい数」の表し方と 数の大小をわかりやすく解説

100より大きい数は、どうやって表したらいいのかな？

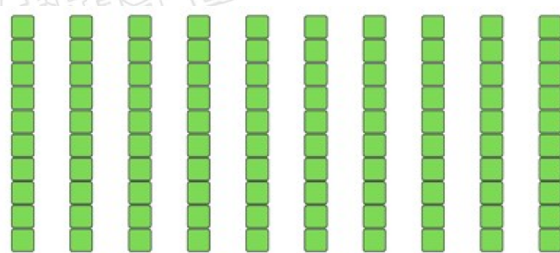
100より大きい数とは

「10より大きい数」を数（かぞ）えるときは、10のかたまりを作（つく）って 数えていたよね。

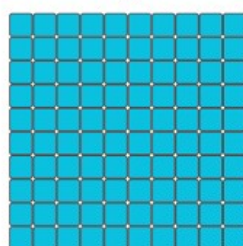
「10のかたまり」は 10あれば、100 になるんだったよね。

では、100より大きい数は どうやって 数えればよいのかな？

そう、100 よりも 大きい数を 考（かんが）えるときも、「100のかたまり」を作（つく）って 数えるようにすれば いいんだよ。



「10のかたまり」が10こ



「100のかたまり」



数の表し方としくみ

なん百の数

百（ひゃく）を 2こ あつめた数は 二百（にひゃく）、 百を 3こ あつめた数は 三百（さんびゃく）と 言うよ。

まずは、なん百の読み方を かくにん しよう！

かず どんな 数	すうじ 数字	かんじ 漢字	よ しかた 読み方
百を1つ	100	百	ひゃく
百を2つ	200	二百	にひゃく
百を3つ	300	三百	さんびゃく
百を4つ	400	四百	よんひゃく
百を5つ	500	五百	ごひゃく
百を6つ	600	六百	ろっぴゃく
百を7つ	700	七百	ななひゃく
百を8つ	800	八百	はっぴゃく
百を9つ	900	九百	きゅうひゃく

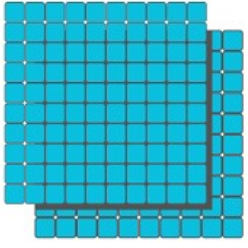
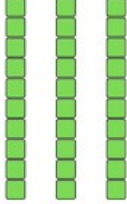


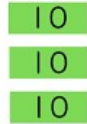
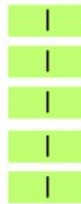
三百（さんびゃく）、六百（ろっぴゃく）、八百（はっぴゃく）は、読み方に注意だね！

数の表し方

大きな数を 考えるときは 「100のかたまり」、「10のかたまり」、「1のばら」が それぞれ いくつ あるのかを 考えれば いいんだよ。

たとえば、二百（にひゃく）三十（さんじゅう）五（ご）は、 次のように考えるよ。



		
		
百の位 2	十の位 3	一の位 5

235の 百の位(くらい)は2、 十の位は3、 一の位は5 だね。

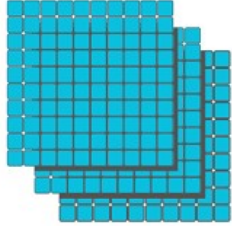

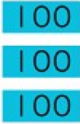
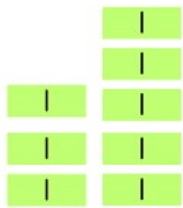
二百三十五は 235と 書きます。

じゃあ、たとえば 三百八なんていう数を数字で書くときは どうすればいいのかな？

百が3こ、一が8こ ということだよね。
でも「10のかたまり」はないよね。

「十の位」が ないときは、 どうすれば いいんだろう？



		
		
百の位 3	十の位 0	一の位 8

「10のかたまり」は ないから、 十の位は「0」に すれば いいんだね。

ないからと言って「0」を書かないと、「38」になってしまって ちがう数字に になってしまうよ。

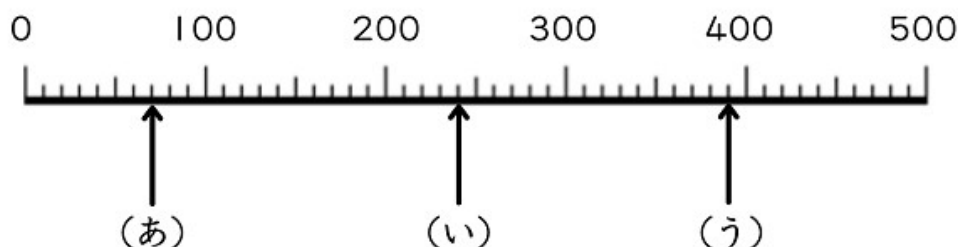
三百八は 308と 書きます。

数の線

数の線（せん）を 読よむときは、 1つの「メモリ」が いくつになるかを 考えないと いけないんだ。



(あ) (い) (う) の やじるしの 数字を 数えるよ。



1つのめもりが「1」ずつだとおもって数えると、0から100こすすんだだけなのに 100に になってしまうよね。
なんだか へんだよね。

1つのめもりが いくつになるかを 考えるには、まずは ある数字からある数字まで、いくつ めもりが あるかを かくにんしよう。

たとえば、0から100まで、いくつの めもりが あるかな？

0と100の間(あいだ)は、10に 分けられているね。

ということは、1つの めもりが いくつかを けいさんするには、100を 10こに 分ければ いいんだ。

つまり、1つの めもりは 10ずつ だよ。

めもりを 数えるとき、10、20、30、40って 10ずつ数えると、ピッタリに なるね！

ということは、(あ) 0から7つぶんすすんだところだから、10が7つで、70だね。



(い) を数えるときは、200から数えよう。210、220、230、240。

だから、(い) は240だね。

(う) を数えるときは、300から数えても いいけど、メモリが多くて たいへんだね。

まずは、いくつのメモリがあるか数えよう。300のところから、9このメモリだ。

でも、309じゃないよ。「1メモリは10」だったよね。

9メモリだと90だ。だから(う) は、390だね。

300から数えるのが たいへんだったら、400より1つのメモリぶん すくないから、「400より10小さい数」って考えることもできるよ。

数の線の 数え方

まずは、1メモリがいくつかを 考えるよ。

(1メモリが 10のとき)

「10、20、30、・・・、110、120、130、・・・」のように、数えることができるね。

でも、メモリが多くなると たいへんだから、100や200のような「キリのいい数字」からメモリを数えると 分かりやすいね。



れんしゅうもんだい

(1) それぞれ いくつを 表あらわしていますか。 数字すうじで 書きましよう。

①			
	百の位	十の位	一の位
②			
	百の位	十の位	一の位

答え

① 7 4 6

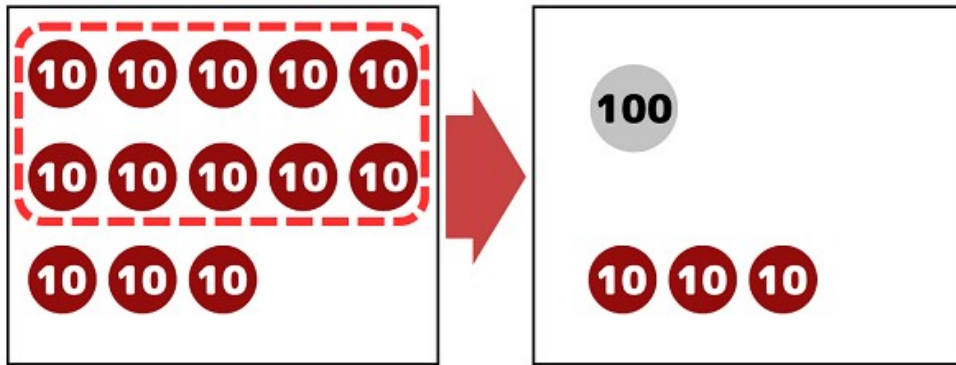
② 3 9 0

なにもない位くらいには 0を 書かないと いけないよ。

(2) 10を 13こ あつめた 数は いくつですか。

「10のかたまり」が 10こ あれば 100に なるんだったよね。





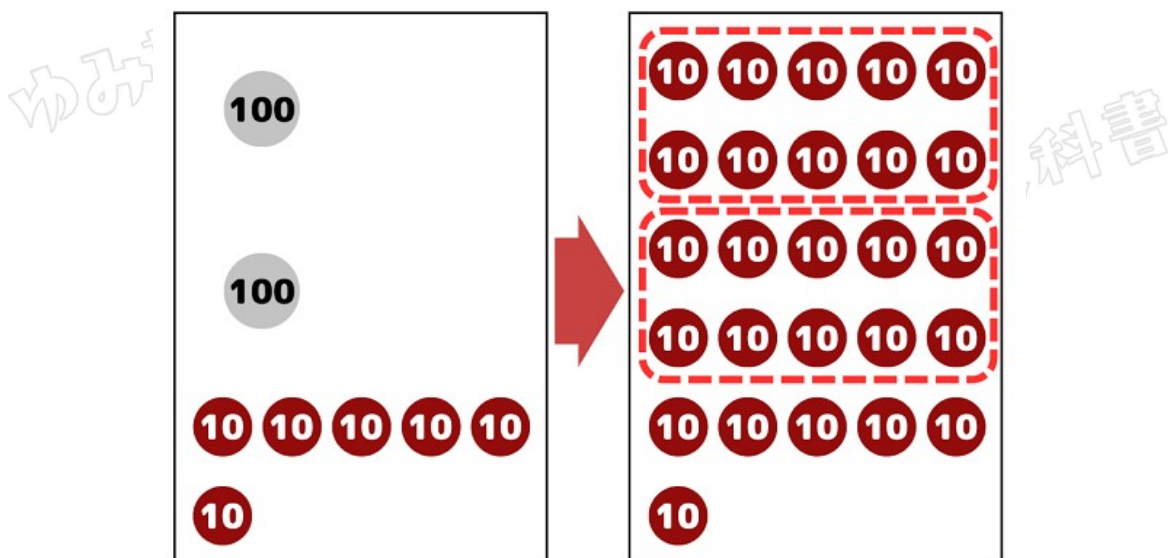
すると、100と 30に できたよ。

答え 130

(3) 260は、 10を 何こ あつめた 数ですか。

260 ということは、「100が 2つ」と 「10が 6つ」だね。

こんどは、 100のかたまりを 10に くずしてみよう。



これで、 10のかたまりは 26こ になったね。

答え 26こ

千 (せん)

ここまでで、「なん百」という数字は、 数えられるよう になったよね。

じゃあ、百、二百、三百、・・・八百、九百、この次つぎは どうなるんだろう？

百が 10こ あつまると、 新あたらしい数を つかって 数字すうじを表あらわすよ。

百を 10こ あつめた数を 千せんといい、 1000と 書きます。

数の線を見ながら、 考えてみよう。

- (1) 800は あといくつで、 1000に なりますか。
- (2) 1000より 400 小さい数は いくつですか。
- (3) 1000より 50 小さい数は いくつですか。
- (4) 1000より 1 小さい数は いくつですか。



まずは、小さい 1メモリが いくつか 考えよう。



大きいめもりは 500、600、700・・・って100ずつ 増ふえているね。だから、小さいめもりは 10、20、30・・・って増(ふ)えるよ。

「小さいめもりは 10」だね。

(1) は、大きいめもりで 数えよう。大きいめもりは 100ずつ 増ふえているね。だから、800は あと200で、1000になるね。

(2) は、1000のところから 大きいめもり 4つぶんを 数えよう。900、800、700、600！
1000より 400 小さい数は 600だ。

(3) は、50小さい数を 考えるよ。50ということは、小さいめもりが 5つ分だ。
990、980、970、960、950！

うしろから 数えるのは おずかしいから、数の線に しるしをつけてから 数かぞえてもいいよ。

(4) 1000より 1 小さい数 ということは、あと 1増えると 1000になる数 ということだね。それは 999だ！

答え

(1) 200

(2) 600

(3) 950

(4) 999



数の大小（数の大きさ比べ）

100より大きい数（3けたの数）をくらべて、どちらが多いか、どちらが少ないかを かんがえよう。

3つの 小学校の 子どもの 人数（にんずう）を くらべてみよう。

東小学校 495人

西小学校 527人

南小学校 541人

東小学校と 西小学校の 人数を くらべて みるよ。

東小学校は、495人で 500人よりも 少ないね。 でも、 西小学校は、 527人で 500人よりも 多いよ。

だから、 西小学校の方が 人数が 多いね。

数字を 比べるのは、「百の位が4」と「百の位が5」と いうところだけ 見れば、 分かったよね。

じゃあ、西小学校と 南小学校の 人数を くらべて みよう。

百の位は どちらも 5だから、 ここだけ 見ても どちらが 多いかわからないね。

だから、つぎは 十のくらいを くらべるよ。

西小学校は 「十の位が2」で、 南小学校は 「十の位が4」だ。

南小学校の方が 大きいね。



数の 大小は、 しるし $>$ 、 $<$ をつかって表すことは 覚えているかな。

$>$ も $<$ も、おおきく ひらいている ほうにある 数字が もうかたほうより 大きいことをあらわす しるし (きごう) だよ。

$>$ と $<$ の つかいかた

$495 < 527$

495 は 527 より 小さい

$541 > 527$

541 は 527 より 大きい

と、表すことが できます。

まず、いちばん 大きい 百の位の 数字を くらべて、同じだったら、つぎに 大きい 十の位の 数字を くらべれば いいね。

